



南 雲 正

「町政立て直し3年断行」の成果と 石川遼選手の冬場活動拠点の 整備について

町長就任時の町民との約束「町政立て直し3年断行」の成果を問う

質問

「緊急、町政立て直し3年断行」、「町政一新、わかりやすい町政」の実現を公約に就任した町長に対し、町民は3年間で町が生まれ変わり、観光の町湯沢の復活を期待した。しかしながら町の人口は、37年前の昭和47年頃の水準となり、観光客や基幹産業のスキー客も新幹線開業前の昭和54年頃の水準まで落ち込んでいる。多くの公約を掲げながら、掛け声だけで何も実現しない町政に不信感を持つ人も多い。4年間の任期の終わりを迎え、町民との約束実現のために任期中何をやり、どのような成果が出て、どのように町が変わったのか町長の見解を伺う。

町長答弁

私は就任以来、土日もあり休まず、真面目に汗をかいて、「生懸命に取り組んできたが、理解をいただけなく残念だ。就任以後「行財政改革」「定住交流促進」「湯沢駅の活性化」「湯沢町観光大使」「外国人観光客の誘致促進」「雪国観光圏の認定」「バイオマスタウン構想の認定」「湯沢高原の民営化」「町営施設への指定管理者制度導入」等を行なった。成果については検証していないが、やることは自分なりにかなりやってきたと自負している。

質問

観光振興のためにいろいろやってきたというが、4月以降高速道路ETC割引効果で近隣インターをはじめ全国のインターで利用者が大きく

町長答弁

延びているが、湯沢インターは4月以降8月末まで、毎月前年数値を下回り続けている。雪国観光圏、新潟ステイネーションキャンペーンの取り組み等も伝わっていない。

重要な時期に「がん治療施設の誘致問題」に翻弄され1年を棒に振る中、近隣の南魚沼市、魚沼市では雇用の確保のため企業誘致に成功し、町づくりの新たな取り組みも聞こえてくる。何の成果も見えず、町も変わらない。成果が実感できなければ意味がない。この「緊急町政立て直し3年断行」は何だったのか、お聞かせ願いたい。

町長答弁

「町政立て直し3年断行」を念頭にやってきたことに変わりはない。私が3年断行と決めたことで、すぐに出来れば本当に私も素晴らしい人間

だと思いが、それが出来なかった。これからまた「生懸命に取り組みたい」。

人気プロゴルファー石川遼選手の冬場活動拠点として、旭原の大地に常設クロスカントリーコースの整備を

質問

トリノオリンピックで4位入賞し、バンクーバーで活躍が期待される皆川賢太郎選手が東京の企業に移籍したのは残念である。奥さんの上村愛子選手と新たに繋がり

のできた石川選手と共に「世界のアスリートの集う町」として、湯沢が世界に発信できたはずである。世界に羽ばたく日本の宝、石川遼選手が活動拠点を湯沢に置いてくれれば町発展の起爆剤となることが期待できる。冬場のトレーニングにスキーのクロスカントリーを行っていることから、早急にクロスカントリーコースを整備し、冬場の練習拠点を提供することが石川選手受け入れ態勢整備の第一歩である。コースは「一般スキーヤーと競合せずに、道路で分断されることなく、長いコー

町長答弁

スの確保と雪国の大自然が楽しめる旭原の大地が最適である。基地、休憩所として体験工房大源太の活用も考えられる。常設のクロスカントリーコースを整備することで地元小中学校クロカン部の練習場、クロスカントリー合宿、最近注目されている歩くスキー、スノーシューの体験等、多目的活用が図られ「雪国体験」として低迷する冬の観光に新たな魅力付けが出来ると思うが町長の考えを伺う。

石川選手サイドでは湯沢を冬のトレーニング拠点として考えており、地元にいるいろいろな意味で貢献したいといっている。クロスカントリーコースの問題も含め意向を確認しながら、町として精一杯の取り組みをしたい。私の方で勝手に動くことも厳しい状況であり、石川選手の足かせにならないように、間に人に入っていたとき、情報収集をしていくところである。

一般質問